

## 1学年保護者会の開催

学生指導課長 渡邊 尚孝

本館前の銀杏の木が少しずつ色を変え始めました。いよいよ後期が始まりました。今春入学した本学の1年生は、秋の忍ヶ丘祭を前に学生生活を謳歌しています。

さて、保護者の皆様には既に御案内が届いているかと思いますが、10月29日(土)午前中に1学年保護者会を計画致しました。入学時には十分に御紹介できなかった新館の様子や半年間の学生の変化、そして次年度の就職活動に向けた展望などについて、情報交換等の機会にしたいと考えております。お忙しい中とは思いますが、御出席をよろしくお願いいたします。

## 「就職活動」もうひと頑張り

就職指導係長 田村 広美

厳しい就職戦線を打破するには、積極的な就職活動しかありません。企業の場合はネットによる検索や企業就職説明会への参加を行います。また、保育園等の場合は、実習園での体験実習や行事参加、自宅近くの保育園等に履歴書を持参しての就職のお願いなどです。

上記の事を踏まえ、積極的に行動した学生には、後半を迎える就職活動に多くの成果が期待できると確信しています。

就職は自分の事です。私達はサポートすることはできますが、自らが積極的に行動しないと内定を得ることはできません。

3月の就職説明会から始まり、長い就職活動も山場を迎えようとしています。あと、もうひと頑張り、前向きに活動して欲しいと思っています。

## 平成28年度 後援会役員会報告

8月4日(木)に、平成28年度宮崎学園短期大学後援会役員会が開催されました。大学の現況説明等が行われ、和やかな雰囲気の中に終わることができました。後援会役員は以下のとおりです。

【会長】奥津 尚子 【副会長】藤元 淳一、黒木 國泰 【顧問】宗和 太郎

【理事】徳丸 学、金丸 千恵、野坂 敬、久保 良一、原田 真理  
野崎 豊子

【会計】押川 美香、森山 裕文 【監査】伊東 信博、上田千恵子

【書記】田村 浩一、河野 豪



## 保育フェスティバルのご案内

第1回 平成28年10月22日(土) 10:00～15:00 本学/本学交流センター(秋の忍ヶ丘祭期間中)

第2回 平成28年12月17日(土) 10:00～15:00 宮交シティ3F 紫陽花ホール

保育フェスティバルは、乳幼児とその保護者を対象にしたイベントです。0・1歳児の部屋、2歳以上児のコーナーに分かれて、本学の学生が楽しい遊び場を用意してお待ちしています。音楽遊びや制作コーナーなどたくさんのプログラムを準備しています。第1回目は秋の忍ヶ丘祭期間中に本学で行い、第2回目は初めて宮交シティ会場で行います。入場は無料で、参加の申し込みは不要です。皆様のご来場をお待ちいたしております。



## 推薦入試以降の入試及び専攻科入試日程

| 入試区分   | 推薦入試<br>指定校推薦入試<br>社会人入試(一期)     | 一般入試(一期)<br>大学入試センター試験利用入試(一期)<br>社会人入試(二期)<br>外国人留学生入試・帰国子女入試 | 一般入試(二期)<br>大学入試センター試験利用入試(二期)<br>社会人入試(三期) |
|--------|----------------------------------|--|---|
|        |                                  | 専攻科入試(四期)  | 専攻科入試(五期)                                   |
| 出願期間   | 平成28年10月26日(水)～<br>11月4日(金)12時必着 | 平成29年1月10日(火)～<br>1月25日(水)12時必着                                | 平成29年3月6日(月)～<br>3月21日(火)12時必着              |
| 試験日    | 11月10日(木)                        | 2月1日(水)  | 3月23日(木)                                    |
| 合格発表   | 11月22日(火)12時発送                   | 2月10日(金)12時発送  | 3月24日(金)15時                                 |
| 入学手続締切 | 12月6日(火)12時必着                    | 2月23日(木)12時必着  | 3月30日(木)12時必着                               |

※大学入試センター試験利用入試では本学独自の試験は課しません。 ※専攻科入試(四期・五期)は定員に欠員がある場合のみ実施します。

無料

JR清武駅 ↔ 短大 通学シャトルバス運行!



# 10 後援会だより

October 2016 Vol. 31



えれこっちゃんまつりみやざき

## 発見のある生活は楽しい

勉強を「覚えること」と考えている人は多い。先生の講義をしっかりと聴いて、記憶に入れる。しかし忘れていくから、試験の前もう一度頭に叩き込んで答案に吐き出す。一夜漬けの記憶というのは、いつまで持つのだろうか? 1週間か、一ヶ月か。しかし所詮忘れられるのであれば、学んだことにはならない。

学ぶとは、理解して身に付けることである。自分のものの見方として取り入れることである。言い換えれば、自分のこれまでのものの見方を訂正する「発見」「気づき」をすることである。

授業の中で、人との会話の中で、本を読む中で、どれだけ「発見」があるか。「発見」がなければ、学んだことにはならない。「発見」を求めて、授業に、会話に、読書に向かいたい。

こんなことがある。こんな訳がある。こうすればうまくいく。こんな考え方もできる。

これらが「発見」である。発見は楽しい。自分のものの見方が広がって、成長した実感がある。これが学習なのだ。

発見を求めて、毎日の生活を送ろう。そして発見したことを家族や友人に話してみよう。毎日が楽しく充実できそうだ。1週間でいくつの発見や気づきを得たか。それが自分の成長のバロメーターである。

夏から「一日一善」を唱えている。自分に良いこと、他人に良いことを一日に1つ以上実践することを目指す。自分に良いことは何か、他人に良いことは何か、実践しようと思えば、考えなくてはならない。色々な気づき、発見があるはずだ。

発見ノートを作ってみたらどうか。意外だったこと、驚いたこと、納得したこと、そうした出会いを言葉にして書き留めると、整理され、自分に定着しやすい。そして人への説明もしやすくなる。

難しく考えず、発見のある生活を楽しみたい。そして自分を成長させていきたい。後援会の皆さん、一緒にいかがですか。



学長 宗和 太郎



# 輝ける忍ヶ丘

## 保育科・専攻科(福祉専攻)

### 夢を目指して、そして輝いて

保育科長 野坂 敬

子どもが好き、子どもの笑顔が好き、子どもの愛らしいしぐさや輝く目が好き。入学当初、笑顔で答えていた学生も1年、2年と日々の授業や実習の学びの中で、子どもの命の輝きを感じ、そのことに寄り添うことのすばらしさを実感することになります。「命の輝き」、それは日々成長していくことにあります。若芽が膨らみ、葉を広げ、木々全体を緑でおおい、光を浴びて輝く春の姿ながらに、子どもの成長に寄りそい、そのことを実感する「しごと」、それが保育士の仕事です。一人一人の成長に応じた子どもの輝きを感じ、保護者とともに喜びを共感することができます。それが保育士という仕事のすばらしさです。「子どもが好き」と夢を描いて保育科を選び、学びの中で様々な「こども」のことを知り、保育士への夢が揺らぐ時を乗り越えて、学生の目指す「保育士」への夢があります。子どもが輝くとき、そばに寄りそう保育士の柔らかな笑顔や姿が子ども以上に輝いていると感じられます。卒園した子ども達が何時までも「せんせい」として覚えてもらえる仕事、それが本学で保育を学ぶ学生の輝く姿です。



#### 「そして、福祉専攻生として」

2年間の保育科を終え、もう一人の自分を求めて専攻科に進学した学生は、入学と同時に保育科での学びとの違いに大いに戸惑うことになります。初めて聞く介護用語や医学的専門用語、実際の介護実習等に不安を感じ、自信を失いながらも数々の実習等で、幼児とは違う「命の輝き」を感じることができるようになります。それは、保育という子どもの育ちゆく輝きから、「その人らしさ」から「その人らしく」輝き続けることの素晴らしさを知ることからです。幼児から高齢者、障害児・者を問わず一貫して生きる輝きを守る仕事、「福祉」の専門家として一回り大きく成長していきます。1年を終え、それぞれの道に進む彼らの姿は、保育士として、介護福祉士としての夢をかなえ、見違えるほどの成長で輝きを感じさせてくれます。命の輝きとともに歩む姿が福祉の「輝き」でもあります。

## 秋の忍ヶ丘祭に向けて

秋の忍ヶ丘祭実行委員長 河野 裕実

今年の秋の忍ヶ丘祭のテーマは、「てげ盛り上がるっちゃが！行くぞ！新(館)時代へ」です。私はこのテーマを決めるにあたって、学友たちがどんなテーマだったら秋忍を楽しめるのか、新館が完成した喜びを共有するにはどうすれば良いのかを考えました。そのため、学友が慣れ親しんだ方言を入れました。また、新館を新時代とかけ、創立51年目となる新時代の第一歩を踏み出そう！と思えるようにしました。このテーマに沿った秋忍ができるように現在、学友会全員、また各クラスの秋忍委員と協力しながら準備を進めています。

秋の忍ヶ丘祭は今年で51回目です。私は去年、学友会として第50回目の秋忍を経験しています。50回の節目だったこともあり、秋忍長だった先輩は最高のものにしようと毎日遅くまで残って準備をし、成功を取れました。私も先輩が作り上げた秋忍に追いつけるように、より良いものにするために日々努力したいと思います。



## 現代ビジネス科

### 学びの輝き ～学外体験学習～

現代ビジネス科長 久保 良一

本学科は、いち早く社会人になるための学びとして、学外体験学習の質を高めることをねらいとして、昨年度から今年度前期まで、学外に打って出る取り組みへの積極的な指導を進めています。毎月1回、学生達が企業現場で頑張っている姿、それぞれの考え方や意見等について広く知ってもらうために、マスメディアであるテレビやラジオのスタジオにおいて発表を行ってきたところです。また、県内企業10社と学生達が連携し、コラボを行いながら全国にインターネットを使ってアイデアを提案するとともに、それを経営にどのように取り入れられるかなどの検討を行ってきました。学生たちの若さ溢れる考えが企業経営にとって大きな魅力となりました。そして、これらの体験を通して消極的だった学生が積極的に発言するようになってきたことは大きな収穫でもありました。さらに、昨年度は宮崎県が実施した統計グラフコンクールに2点を出品し、「宮崎県知事賞」、「宮崎県教育長賞」、そして「学校賞」を受賞することができました。また、検定関係でも秘書実務検定の部において、全国で「団体優秀賞」を受賞しました。



今年度は、宮崎市が主催する人材育成事業にも選出されたことから、後期からになります。充実したプランの構築に向けた取り組みを進めることにしております。このような「学外体験学習」を通して、学生達はさらに輝きを増し、大きく成長してくれるものと期待しているところです。

## えれこっちゃんまつりみやぎき 市民総踊り

現代ビジネス科(ビジネスコース)1年 長友 玲奈

7月23日(土)に開催された「えれこっちゃんまつりみやぎき」に、宮崎学園短期大学も踊り隊として参加しました。今年は、昨年を上回る39名の参加学生が集い、学長先生をはじめとする多数の先生方にも御参加御協力をいただきました。練習では暑い中に放課後の限られた時間ではありましたが、学生同士で協力し合いながら取り組むことができ、とても有意義な時間となりました。当日は、「宮短革命」というスローガンのもとに、色とりどりの浴衣や甚平に身を包み、それぞれが青春の思い出に残るような宮短生らしい最高の踊りができたように思います。沿道からいただいたたくさんの御声援も大きな力になりました。御協力御声援いただいた皆さん、ありがとうございました。



## 絵本の読み聞かせボランティア活動を通して学んだこと

保育科1年 近藤 里帆

私は今、保育士になるために学んでいる知識を活かせるボランティア活動に積極的に参加しています。その取り組みの中の保育園での絵本の読み聞かせや手遊びでは、初めてのことであったために不安がありました。事前に友達とグループを組んで、協力し合いながら、納得がいくまで練習を積み重ねて、子どもたちの前に立つことになりましたが、子どもたちが一緒になって一生懸命に手遊びに取り組み、大喜びしてくれている姿に、嬉しさと達成感を強く感じることができました。

この経験を通して、ボランティア活動には、地域の方々との触れ合いが増えることはもとより、たくさんの新たな発見や喜び、充実感を味わうとともに、自分自身を成長させることができると思います。そして、一人の社会人、職業人としての資質の醸成にも繋がっていくと感じています。

